

第4回大台町立小学校のあり方検討委員会 報告書
【保育園代表及び小学校 PTA との懇談】
(三瀬谷小学校区)

アンケート結果では、保護者・一般ともに「基礎的学力の向上」と「安心して学べる学校づくり」を重視。教育環境では「安心して学校生活を送れる環境」「安全な通学」「教員の指導体制の充実」が上位で、「多くの仲間と切磋琢磨できる環境」や、一般層では「地域の人とのつながり」も重視された。

(意見)

- 学校の清掃や環境整備については、こちらが気づく前に職員の方が対応してくれており、校内で危険を強く感じたことはあまりありません。新しい校舎を求めるといよりも、最低限安全性が確保され、地震時にも子どもの命が守られることが重要だと考えています。
- 新しい校舎がほしいということに対して、保育園は毎日の送迎で施設の状態がわかりますが、小学校へは行く機会が少ないため、施設の状態がわかりません。地震が発生した場合も、最低限の安心がほしいです。
- 通学の問題と、学校内の学習環境の問題は分けて考える必要があると思います。アンケート結果では「学力」「社会性」「安心・安全」が上位にありますが、特に「安心して学べる学校」とは何を指すのか、もう少し具体的に知りたいです。例えば、防災や通学の安全だけでなく、校内でいじめやトラブルが起きたときのケア体制など。子どもが最終的に前向きに学校生活を送れるための仕組みがあると安心できます。
- 安心とは、子どもの命の危険がなく、毎日楽しく通うことができることも安心だと考えます。

児童数減少への対応（資料 4～6）では、統合に前向きが多数。統合時は「通学手段」「通学路の安全」「距離・時間」を重視、現状維持の場合は「少人数教育の充実」「安心・安全な学習環境」「交流学习の拡充」、一般では「複式学級に対応できる教員研修」も挙げられた。

(意見)

- 統合した方が良く考えます。人間関係は、一度できてしまったものはずっとそのまま。自分自身の時は、クラス替えがあるのがうらやましかった。小学校の時、統合があり、統合前の最後の卒業生だった。その当時、小学校がなくなるのは反対であった。現在は、統合し、人数が増えていろんな世界を子どもたちには見てほしいと思う。
- 統合後の通学手段としてのスクールバス運行はどうなりますか。特に帰りの便や、短縮授業時の対応など、具体的に分かったと安心です。
- 学校は「安全な場所」という前提が強いので、耐震や老朽化の現状は丁寧に周知してほしい。子どもの命に関わる安全性の確保が親としては第一優先。

再編規模（資料 7）では「4 校を 2 校に」が最多。地理・交通実態や将来児童数を踏まえた配置が必要

（意見）

- 自分の経験からは、1 学級が 33～40 人規模だと目が行き届きにくいと感じる面もありました。学級規模は 20～30 人程度が望ましいと感じます。
- 「2 校に」が多いのは、宮川地域と日進地域でそれぞれ 1 校というイメージを持つ方が多いからではないかと考えます。通学距離や路線、などを考えると、配置は慎重にした方がいいのではないかと思います。
- いずれ人口減少が進むなら、段階的統合より最終形を見据えて「1 校に」した方が、再編を繰り返さずに済むのではないかと思います。
- 1 校にした方が良いと思います。2 校にしたとしてもまた統合再編という同じ状況になる未来が早いと感じます。
- 校舎や体育館、設備が新しくなってほしいと思っている子どもが多い。普段使っている子どもたちが感じる部分が多いと感じました。
- 子どもたちが「今のままだよい」が多いのは、「今の学校が好き」という気持ちの表れであり、他校の児童生徒と一緒にすること自体を否定しているわけではありません。子どもの数が減っても今の学校が良いと感じている子どもたちは、今の学校が好きな子が多いということの表れだと思います。